

沖縄コカ・コーラ浦添工場における 県内最大級「かりーるーふ、(太陽光第三者所有モデル)」の運用開始について

沖縄コカ・コーラボトリング株式会社^{※1}(代表取締役社長 小山良彦 以下、沖縄コカ・コーラ)において、沖縄電力グループの沖縄新エネ開発株式会社(代表取締役社長 嘉味田朝紀 以下、沖縄新エネ開発)が手掛ける「かりーるーふ」^{※2}(太陽光第三者所有モデル)の運用を5月29日に開始しました。

沖縄コカ・コーラは、事業活動を通じた環境負荷低減および持続可能な社会の実現に向けた取り組みとして、CO2排出量削減の一助となる「かりーるーふ」導入を沖縄電力、沖縄新エネ開発と3者で検討を進めてきました。

浦添工場へ設置された太陽光発電設備(305kW)は、事業者向けかりーるーふとしては県内最大級となり、発電した電力を工場内で使用することにより、年間約330t(杉の木約3万7千本分)のCO2排出量削減に貢献します。

また、パネル設置による工場内の室温上昇抑制を見込んでおり、これにより、CO2排出量削減のみならず、従業員の働く環境改善にもつながります。さらに、非常時(停電)においては、太陽光発電設備と蓄電池により確保した電力を活用することで、BCP(事業継続計画)機能強化も期待されます。

本サービスは、沖縄電力が掲げるコーポレートスローガン「地域とともに、地域のために」に資する取り組みおよび沖縄電力グループが目指す「2050年CO2排出ネットゼロ」の実現に向けた施策の推進にも繋がります。

3者は本取り組みを通して、今後も沖縄県の持続可能な社会づくりに向けて推進してまいります。

※1 「沖縄コカ・コーラボトリング株式会社」は、1968年の設立以来、清涼飲料の製造・販売を通じて皆さまへ安全安心な製品を提供するとともに、地域社会との共創を重視しながら事業活動を展開しています。事業活動を通じた環境負荷低減および持続可能な社会の実現に向け、これまでも省エネルギー推進や資源循環水資源涵養、地域環境保全活動など、地域に根ざしたサステナビリティ活動にも継続的に取り組んでいます。

※2 「かりーるーふ」は、太陽光発電設備と蓄電池を初期投資ゼロで設置し、発電した電気をお客さまに販売するサービスです。ご検討から導入、メンテナンス、撤去まで沖縄新エネ開発がワンストップで対応しています。



〔かりーるーふ、(沖縄コカ・コーラ浦添工場設置：305kW)〕